

## 市政モニター提案の検討結果

1 新婚世帯の費用補助	
提案内容(要約)	検討結果
<p>富士市では、新婚世帯の費用補助として、市内在住者は上限35万円、市外からの転入者は上限50万円を支給している。</p> <p>市外への転出を防ぐためにも、新婚世帯への費用補助を行ってはどうか。</p>	<p>富士宮市では、今年度から39歳以下の結婚される世帯に対して、「結婚新生活支援事業」として、最大60万円の補助を実施しています。</p> <p>婚姻に伴う住宅取得費用又は住宅賃借費用、引っ越し費用が補助の対象です。</p> <p>また、県外から富士宮市に移住し、住宅を取得または賃借した若者世帯には、移住定住奨励金を最大で160万円交付しています。</p>

2 市の入籍限定イベントについて	
提案内容(要約)	検討結果
<p>市役所1階にある入籍用フォトスポットの場所が分かりにくい。</p> <p>フォトスポットを分かりやすい場所に変更し、バックパネルも記者会見用のパネルやさくやちゃんのイラストが描かれているものにしてはどうか。</p> <p>また、入籍する人だけでなく、市役所に訪れた人が気軽に撮影できるスポットにして、写真をプリントアウトするサービスを行ってはどうか。</p>	<p>現在、市役所1階に設置している記念写真撮影用ボードは、婚姻や転入などで利用できるよう「富士宮市に引っ越してきました」等の手持ちボードを用意し、いつでも誰でも使えるようになっています。</p> <p>また、対応可能な限り写真撮影のお手伝いをしています。</p> <p>スペースやボードの大きさの都合から他の場所への設置は難しいですが、ボードのデザインはリニューアルの際に今回の提案を参考に、ニーズに合うものにしていきたいと考えています。</p> <p>婚姻届の写真プリントサービスは難しいですが、夫婦の名前、生年月日、婚姻日、証人の名前などが記載される「婚姻届特別受理証明書」を有料で交付しています。これを記念に申請する人もいます。</p>

3 子供の遊び場の状況の情報について	
提案内容(要約)	検討結果
<p>コロナ禍での子供の遊び場について、規模や遊具など詳細な情報を得る手段が少ないように感じる。</p> <p>市公式ウェブサイト、子供を連れて行ける公園や施設の場所・写真・時間・駐車場の有無・混雑する時間帯・トイレの有無を掲載してほしい。</p>	<p>提案を受け、富士宮市公式ホームページの子育てお役立ちリンク集に、リンクを追加しました。</p> <p>(1)公園ガイド(公共施設のページに掲載されています)</p> <p>(2)ハハラッチホームページ(母親目線で活動しているハハラッチが取材した内容を幅広く掲載されています)</p>

4 マイナンバーカードを作るにあたって	
提案内容(要約)	検討結果
<p>マイナンバーカードの作成は手続きが面倒なため、作る人が少ないと思う。</p> <p>マイナンバーカードの作成に市役所まで行かなくても、出張所などでマイナンバーカードの手続きができるようにしてはどうか。</p>	<p>マイナンバーカードの申請は、郵送とオンラインの二つの方法があり、市役所に行くことなく申請手続きをすることができます。</p> <p>しかし、マイナンバーカードをお渡しする際は、本人確認と暗証番号の登録が必要です。</p> <p>暗証番号の登録に必要な機器は、現在市民課にしか機器がなく、増設するには費用がかかるため、出張所へ配備する予定はありません。</p>

5 マイナンバー制度	
提案内容(要約)	検討結果
<p>マイナンバー制度を知っていても、活用できている人が少ないように感じる。</p> <p>マイナンバーカード登録の概略や、期限切れになったマイナンバーカードなどについて、詳しく教えてくれる場所を知らせてほしい。</p>	<p>マイナンバーカードについては、総務省や富士宮市ホームページで案内をしています。</p> <p>また、より多くの方にマイナンバーカードを知ってもらうため、市民課窓口でポスターの掲示を行っています。</p> <p>今後は、広報ふじのみやや回覧板を活用することで、取得方法などを、わかりやすくお知らせしていきたいと考えています。</p>

6-1 富士の国として富士宮の桜園化の推進	
提案内容(要約)	検討結果
<p>富士宮には桜並木が少なく、富士山と桜を一緒に見ることができず、ビュースポットが少ないように感じる。</p> <p>桜の植樹を行い、富士の国にふさわしい桜園化を推進してはどうか。</p>	<p>富士宮市内には、富士山本宮浅間大社、潤井川河川敷、大石寺、天母山自然公園、富士山さくらの園、田貫湖、富士桜自然墓地公園、稲瀬川など桜の名所が数多くあります。</p> <p>富士山と桜を一緒に楽しめる場所が市内にも多くあることを、ホームページやSNSなどを通じて、広く市民の皆様へお知らせします。</p>

6-2 防災訓練の精度の一步前進	
提案内容(要約)	検討結果
<p>近年の防災訓練は形骸化しており、コロナの影響もあり書面参加となるなど訓練が軽視されているように感じる。</p> <p>防災訓練のマンネリ化がいわれて久しいが、依然として変化が起きていないように思う。</p> <p>そこで、市役所の防災訓練に共鳴したことをやってはどうか。市役所と自治会の情報交換をスムーズにするため、自治会の生命者名簿を市役所と共通・共有化を図るなど、自治会の情報を市のISOにマッチさせて規格化してはどうか。</p>	<p>避難所の避難者名簿は、自主防災組織を中心に作成されています。</p> <p>自治会の情報を市役所のISOにマッチさせ、自治会と名簿を共通・共有化することは、個人情報保護の観点からできません。</p> <p>災害時は、各避難所に市職員で構成される地区担当班を配置しています。各避難所で、自治会と配置した地区担当班との間で情報のやり取りを行い、最終的に災害対策本部でとりまとめます。</p> <p>なお、各地域では、災害が発生した際に訓練と同様に行動できるように、毎年同じ訓練を繰り返し実施していますが、前回の訓練で生じた問題点を踏まえ、自治会ごとに問題点の改善をしながら訓練が行われています。</p>

7 防鳥ネットの配布について	
提案内容(要約)	検討結果
<p>ごみ捨て場のごみがカラスに荒らされているのを目にすることが多く、防鳥ネットが設置されていないごみ捨て場もある。</p> <p>自らお金を出して防鳥ネットを購入する人は少なく思う。また、町内会単位で補助金が出るようだが、予算が決まっていると言われた。</p> <p>補助金ではなく、防鳥ネットを配布してはどうか。</p>	<p>ごみ集積所によって必要なネットの種類が異なるため、防鳥ネットを配布していません。</p> <p>環境衛生自治推進協会が予算の範囲内で、ごみ集積所の新設、改修、防鳥ネット購入を行う自治会に対し、補助率100%上限3千円で助成金を交付しています。</p>

## 8 農地の有効活用について

### 提案内容(要約)

農地は農業資格がないと取得できず、農業に興味があっても気軽に手を出せない。  
一方で、相続では農業資格がなくても、県外在住でも名義を変えなければならない、結果、休耕地や遊耕地になってしまっている。

市で農業に興味のある人を募り、一定期間、居宅と農地を貸し出して継続する意向があるなら農業資格を与える制度を設けてはどうか。

面積等に関し、他の市町村と比べてゆるめに設定されているのは知っているのですが、もっと周知されてはどうか。

### 検討結果

農地の権利を取得するには、農地法上、取得後の経営耕地面積が下限面積50アールを上回る必要があります。  
富士宮市ではこの下限面積を30アールに設定しています。

しかし、新たに農地を取得したいと思う人がいても、30アールまでの広い農地は必要ないということで、農地の取得をあきらめる方もいました。

そこで、令和3年4月1日から遊休農地が相当程度存在する区域内では、10アール未満の遊休農地を初めて取得する場合、農地取得の下限面積1アールに設定することにしました。  
この要件緩和により、農業資格がない場合でも、小規模の農地を取得しやすくなりました。

この制度に関して、ホームページや広報ふじのみやでの周知に取り組めます。

## 9 コロナ禍の自治会活動について

### 提案内容(要約)

自治会の役員となったが、これまでと同様に毎月の会合をコロナ禍でも行っている。  
ソーシャルディスタンスや消毒、マスクの対策は行っているが、感染拡大地域への移動確認までは行えていない。

自治会によっては、会合を行っていないところが多いと聞く。

新型コロナウイルス感染症に対しての意識を統一するため、感染対策の研修を行ってはどうか。

### 検討結果

新型コロナウイルス感染対策の研修については、自治会の全区長を対象として昨年12月に開催しています。

また、これまで以下の情報提供と注意喚起を行っています。  
・各自治会の総会について、対面を避け書面による開催の提案

・感染防止に関する情報提供

・自治会活動を行う際の注意点として、検温、消毒、マスクの着用、参加者名簿の作成、活動を強制しないことなどの呼びかけ

・感染を防止するための回覧板の回し方について、町内会長への周知を依頼

その上で、会合やイベントをすべて中止する自治会もあれば、見守り活動など一部の活動を再開している自治会もあります。  
新型コロナウイルスへの感染が心配される自治会活動が続くようであれば、市へ御連絡ください。

## 10 コロナによる救済について

### 提案内容(要約)

静岡市や富士市は飲食店に対して救済措置を行っているが、富士宮ではそのような話をあまり聞かない。また、一般の救済も少ないように感じる。

他の市にはない救済措置を行ってはどうか。

### 検討結果

富士宮市でも、飲食業、観光業、宿泊業、タクシー業、運転代行業、小売業、卸売業を対象に、令和2年12月または令和3年1月の収入が、前の年と同じ月の収入に比べて、30%以上減収した事業者に20万円を支給しました。

また、県内でも最高のプレミア率50%の5,000円のプレミアム付き商品券の販売を2回も行っています。

この商品券には、飲食専用券5,000円分が含まれており、テイクアウトなどを推奨して、コロナ禍での飲食業と家計の応援をしています。

11 友好交流関係都市の解消	
提案内容(要約)	検討結果
<p>中国の武漢ウイルス隠蔽で、日本は多大な迷惑を被っている。また、日本の尖閣諸島や台湾に侵攻をする危険性も高まっている。</p> <p>中国との友好関係関係を解消すべき。</p>	<p>紹興市と富士宮市は友好交流関係締結以来、中学生交流やスポーツ大会への参加、文化団体の派遣などを実施しており、良好な関係を築いています。</p> <p>この交流を続けることで、市民と市民、市と市がより絆を深めていき、地方の交流から国家間問題解決の一助となればと考えています。</p> <p>そのため、現時点では、紹興市との友好交流関係の解消は考えていません。</p>

12 富士宮市に引っ越して思う事	
提案内容(要約)	検討結果
<p>①富士宮市は情報が分かりにくく、新聞を買っていないので、もう少し情報をオープンにしてほしい。市長の顔が全く分からない。市長は、もっとSNSを利用し、顔出しアピールをしてください。</p> <p>②募金の意味をもう一度考えてほしい。募金で集金するなら廃止または自由にしてほしい。</p> <p>③ヘルプマークの認知度が低い。広報などで周知してはどうか。</p> <p>④山車がある地域は、自治会の集金を通じて募金が行われているが、強制的になっているように感じる。募金は別に集めて、班ごとまとめてお金を出すようにしてはどうか。</p>	<p>①富士宮市では、富士宮市公式ホームページのほか、Twitter、Facebook、InstagramなどのSNSでも情報を発信しています。また、今年度からはLINEを活用した情報発信も実施し、新聞以外の媒体での情報発信の充実を図っていきます。</p> <p>②募金の協力は任意で、皆様の善意になります。無理のないようにご協力いただけたらと思います。</p> <p>③ポスターの掲示や講習会、広報紙などでヘルプマークの周知を行っていますが、継続した周知が必要だと感じています。今年度は、広報ふじのみや7月号にヘルプマークに関するお知らせを掲載する予定です。</p> <p>④自治会でやっている集金は、各自治会で決めています。自治会で相談してください。</p>

## 市政モニター提案の検討結果

状況変化に対応した施策をタイミングを逃さずスピード対応してほしい	
提案内容(要約)	検討結果
生活困窮者へ女性用生理用品の配布したらどうか。	<p>市では、富士宮市社会福祉協議会に生活困窮者支援事業を委託しており、緊急的に食料品や日用品などの支援が必要と判断した場合に、生理用品を渡しています。</p> <p>女性が健全な社会生活を送るために生理用品は必要不可欠なものであり、市として積極的に取り組む必要があると考えています。生理用品の配布が生活の困りごとを聞いて支援につなげていくきっかけにもなることから、富士宮市社会福祉協議会の配布状況を調査し、市の窓口で配布することなども検討していきます。</p>
<p>PCR検査を受けるとき、一旦自分で代金を立て替え、後日返金されている。</p> <p>当日、検査代を支払わなくても良い仕組みに変えてはどうか。</p>	<p>無症状者のPCR検査は保険適用外の自由診療であることから、市では、検査費用の一部または全額を補助しています。</p> <p>市が補助を行うにあたり、検査が実施された確認として医療機関が発行する領収書が必要であるため、当日の検査代支払いをお願いしています。</p> <p>検査を実施した医療機関にとっても、費用請求事務が不要となり、事務負担が軽減されることが検査体制の確保につながることから、仕組みを変えることは考えておりません。</p> <p>なお、検査費用を一時払いすることが難しい人には、福祉総合相談課で相談に応じ、支援のご案内をします。</p>
図書館の貸出資料を郵便で自宅に配布したり、付属CDを返却ポストで利用できるようにしてはどうか。	<p>送料は利用者負担になってしまうこと、日数がかかり限られた貸出期間では難しいことから、郵送貸出のサービス提供は考えていません。現在、視覚障がい者や来館が難しい身体障がい者の人のみ、郵送貸出を行っています。</p> <p>返却ポストは、図書のみ返却することができます。CDなどの壊れやすい資料は返却ポストに入れると、中で他の図書の重みなどからCDが破損する恐れがあります。また、付属CDの入れ忘れの確認や、問題なく視聴できたかなどの確認を対面で行う必要があることから、CDの返却ポスト利用は考えていません。</p> <p>交流センターでもCDを含む図書館資料の貸出や返却を行うことができます。</p>
副業程度の小さな収益を得られる求人情報を提供してはどうか。	<p>市では、内職相談を毎週月・木曜日に行い、専門員が内職をあっせんしています。</p> <p>内職以外の求人情報は市になく、紹介できません。</p> <p>パートを含めた求人情報は、市ではなくハローワークで紹介しており、インターネットサービスも行われています。</p>
自動車による騒音・振動対策	
提案内容(要約)	検討結果
<p>富士フィルム前の道路は、深夜でも大型トラックが通行すると騒音や振動が起こっている。</p> <p>①橋にのぼるまでの上り坂をデコボコ、ハンプ、白線をクネクネにするなどして、スピードが出ないようにしたらどうか。</p> <p>②古い道路の劣化などで振動が起きていないか、調査してはどうか。</p>	<p>①自動車がスピードを出せないように道路にでこぼこをつけたり、狭くしたりすることは、規制速度が40km/hの道路にはできません。道路の規制速度の見直しは、富士宮警察署や静岡県公安委員会に相談することになります。</p> <p>②振動の調査は、生活環境課で調査しています。振動が気になる具体的な場所の指摘があれば、調査を行っています。</p>

## 市政モニター提案の検討結果

1 富士宮市の出生率増加に対する提案	
提案内容(要約)	検討結果
<p>富士宮市の出生率の減少は、不妊治療が行える施設がないこと、出産できる病院が少ないことなど、子どもを産みたくても産めない現状が原因であると考える。</p> <p>①不妊治療を行える医師の招致</p> <p>②第3子以降出産した場合、出産祝い金を増額する</p> <p>③産後利用できる割引クーポンの発行 (助産院へのお泊まり制度など)</p> <p>④同月生まれの第1子を持つ親の交流の場を提供(育児の悩みやストレス解消のため)</p>	<p>①不妊治療は、市内4か所の産婦人科で実施しているほか、近隣市町に人工授精や体外受精などの不妊治療を行える医療機関があるため、今のところ医師の招致は考えていません。</p> <p>②富士宮市では、出生率の問題は環境や子育てへの不安など様々な要因が関係しており、経済支援のみを行っても出生率増加には繋がらないと考えているため、出産祝い金の支給を行っていません。しかし、実施している他市町もあることから、今後の施策検討の参考にさせていただきます。</p> <p>③富士宮市では、産後ケア事業として、お母さんと赤ちゃんの健康指導や育児相談を宿泊または通所で受けられるサービスの利用費助成、子育て応援ヘルパー派遣の利用費助成、協賛店舗で優待が受けられるしずおか子育て優待カードなどを実施しています。これらのサービスは、母子健康手帳交付時や赤ちゃん訪問時に紹介しています。</p> <p>④市内7か所ある地域子育て支援センターでは、センター毎に「0歳児の日」を設けており、月齢の近い子ども同士が交流しています。また、市内19か所ある子育てサロンでも子育て中の親同士が交流でき、先輩からのアドバイスや経験談など、幅広い年代の交流を通じて不安やストレス解消のきっかけになる場を提供しています。</p> <p>既に実施している内容については、広報紙や市公式ウェブサイトのほか、子育てセミナーなどの機会を活用して周知していきます。</p>
2 ワクチン接種の迅速化について	
提案内容(要約)	検討結果
<p>富士宮市のワクチン接種は遅い。ワクチン接種を早めるために、和歌山県や市町村を真似るべきだ。</p>	<p>ワクチン接種については、自治体によって、人口規模や医療資源などが異なるため、単純に他の事例を真似るだけではうまくいくものではないと考えています。</p> <p>医師会をはじめ、薬剤師会、歯科医師会など関係する外部団体の協力を得て、富士宮市では、保健福祉部門のみならず、企画部門、総務部門、産業振興部門、教育部門など庁内職員総力をあげて、富士宮市にあったやり方を模索しています。</p>

## 市政モニター提案の検討結果

### 1 図書館カードについて


提案内容(要約)	検討結果
富士宮市立図書館のカードをバーコード化し、携帯電話で表示・利用できるようにしてはどうか。	当館で採用している図書館システムには、携帯電話への図書館利用カードのバーコード表示機能がありません。この機能を追加するには図書館システムの更新が必要であり、すぐに対応することは難しいですが、来年度に図書館システムの更新を検討しているため、その際の参考とさせていただきます。

### 2 市役所地下の携帯電話のつながりにくさについて

提案内容(要約)	検討結果
市役所地下は携帯電話の電波が弱く、通信がほぼ使えない状態である。 市役所全体の電波環境を安定化してはどうか。	市役所地下には、携帯電波の弱いエリアを増強するため、ソフトバンクの携帯電話用室内アンテナを設置しています。このアンテナは、市の固定電話で利用しているソフトバンクが費用負担し庁舎内に設置したもので、ソフトバンク以外の携帯電話会社には対応していません。 他の携帯会社の電波環境を改善するためには、各携帯電話会社の携帯電話用室内アンテナが必要になります。費用や設置場所の確保が難しく、また業務への支障はないことから、当面は他携帯会社の室内アンテナ設置の対応は考えていません。

## 市政モニター提案の検討結果(令和3年度-5)

JR西富士宮駅付近に公衆トイレを設置してほしい	
提案内容(要約)	検討結果
<p>西富士宮駅には公衆トイレが設置されていないので、トイレを利用したい場合は浅間大社前まで歩かなければならない。</p> <p>駅周辺にある空き地に公衆トイレを設置してはどうか。</p>	<p>現在、お祭りなど西富士宮駅付近でのイベント時には、駅構内にあるトイレを借りています。</p> <p>公衆トイレの設置は、土地の問題以外にも、近隣住民の理解が必要であるため、今後、商店街連盟の皆様にも話を伺い、必要性も含めて検討します。</p>

冬季の市役所入口付近の通路の安全対策について	
提案内容(要約)	検討結果
<p>市役所の時間外出入口に入るまでの通路は、冬季になると凍り、滑りやすくなるため、危ない。</p> <p>注意を呼び掛ける表示や立て札はあるが、事前に転ばないように注意喚起をするべき。</p>	<p>現在使用しているタイル素材の変更など、凍結による転倒防止の工夫を検討しましたが、費用面や素材などの面から実現性が難しい状況です。</p> <p>天気予報などで情報収集し、タイルが濡れたり、凍る恐れがある場合は、通路やその手前などに、注意表示をつけたカラーコーンを設置して注意喚起しています。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <span>通路手前に設置</span> <span>設置コーン</span> </div>

非常食について	
提案内容(要約)	検討結果
<p>非常食は値段が高く、家族人数分×最低限の日数を用意するのは大変である。</p> <p>各家庭に非常食を配布してはどうか。</p>	<p>当市では、災害時用にアルファ化米を備蓄しており、賞味期限が近くなったものは、希望する自主防災会に配布して防災訓練に活用していただいています。</p> <p>しかし、市内の各家庭に非常食を配布するには莫大な費用がかかることから、各家庭への個別配布は考えていません。</p> <p>非常食には、缶詰やレトルト食品などの日常食料品を代用し、消費したらその都度買い足す「ローリングストック法」を活用することで、費用を抑えつつ効率的な備蓄をすることができます。</p> <p>ローリングストック法については、市民へ周知のため、広報紙や富士宮市公式ホームページでも紹介しています。</p>



## 市政モニター提案の検討結果

妊娠出産への市のフォローと乳がん・子宮がん検診について	
提案内容(要約)	検討結果
<p>①市内出産施設が少なく、妊婦は不安なので、近隣市と連携するなどして、出産施設を増やしたらどうか。</p> <p>②出生率アップのため、出産祝いにカタログギフトを導入したらどうか。</p> <p>③乳がんや子宮がん検診の受診率を上げるために、検査は無料にして、検査の年に対象者にはがきでお知らせし、そのはがきを受診券にしたらどうか。</p>	<p>①市内で出産できる医療機関は、助産所2か所と市立病院があり、分娩受け入れ体制にも余裕がありますが、富士市など近隣市の医療機関を選んで受診している人も多いようです。 近年は分娩数の減少により、富士市でも分娩の取り扱いを終了した産婦人科医療機関もあることから、他市と連携しても出産施設を増やすことは難しいと考えています。</p> <p>②出産祝いにカタログギフトを贈るには多くの費用がかかり、出生率アップとはならないと考えています。 富士宮市では、出産祝い品として、出生記念樹とたすき帖を希望者に配布しています。 出生記念樹は、子どもの成長を願い緑豊かなまちづくりをすすめるため、たすき帖は子どもの日々の記録や思いを綴り、成人した子どもに渡すことで家族への思いを次世代につなげて欲しいという思いを込めて贈っています。</p> <p>③国の対策として、21歳での子宮頸がん検診、41歳での乳がん検診を無料とすることが定められており、対象者に封書で案内し、無料クーポン券を送付しています。 希望する全年代の人々の検診費用を無料にするには莫大な費用がかかり財政的に難しいため、受診者全員の検診費用の一部を助成しています。また検診の受診案内として特定の年齢の方に、はがきでの案内をしています。 今後、より多くの人に知らせ受診してもらうために、令和4年度からは、受診案内のはがき送付対象者を拡大するとともに、広報やホームページ、公共施設のポスター掲示などでも、引き続きお知らせしていきます。</p>